

3 学年だより<第4号>

令和3年7月13日発行
(共通テストまで184日、国公立二次試験まで226日)

夏を制する！

1学期ももうすぐ終わり、いよいよ夏休みがやってきます。大学受験を目指す高3生の皆にとって今年の夏はこれからを左右する大事な時期です。

夏は基礎を振り返るラストチャンスといえます。ここを逃すと本番に間に合わなくなる確率がぐんと上がります。なかなかやる気が出ないと言い訳を言って時間切れになってしまった生徒も残念ながら毎年見られます。

そうならないためには、学習に向かう覚悟を決めること。まずはゲームやSNS、友人との雑談など、学習の取り組みに影響する時間を必要最低限に抑えることが先決です（もちろんリラックス時間の確保も必要ですが）。1年前の学年だよりで、休日中の学習時間について考えました。学習時間を10時間かそれ以上確保できるかは休憩・リラックス時間の取り方次第です。

ここが4時間なら、学習時間は10時間(午前3h, 午後4h, 夜3h)

休み期間の学習時間

= 1日 24時間 - 睡眠6時間 - 食事(3食)風呂 etc. 4時間 - 休憩, リラックス時間 ? 時間

この機会にどれだけ学習時間を持てるか、自分なりの学習ペースを確認できれば、夏休みの取り組み成果は大きく変わるはず。ウラに夏休みに向けての取り組みアドバイスを載せました。ぜひ一読を！

夏休み中の全員受験模試。2学期当初の予定

7/31(土) 全統共通テスト模試 模試会場は 静岡早慶セミナー (静岡駅南口から歩いて行けます)

8/26(木) ①大掃除、防災訓練 ②表彰、始業式 ③~⑤平常授業、⑥LHR (27日以降平常授業)

8/28(土) 全統記述模試 (学校受験)

9/2(水) 共通テスト出願説明会 (学年集会)

学割の申請は平日のみ対応
発行までは1週間くらいかかるので注意

夏休み中の自習について

3年の教室 31HR 教室(文)、特30 教室(理・理数) 8:30~16:00 戸締りの放送まで
(平日のみ、8/11~15 までと三者面談や夏季講座が入っているときは使用不可)

図書室 平日 朝 8:00~16:00 (平日のみ、8/10~20 までは閉館)

百周年記念館 平日 8:30~17:00、土曜 13:00~17:00 (休館日については、百周年入口のホワイトボードで確認を)

★常識の徹底を！ 集中して勉強する雰囲気づくり・スマホはカバンの中・飲食・雑談はNG・ゴミの持ち帰り

進路資料室では、赤本の閲覧ができます。(平日のみ、8/11~15 は使用不可) 閲覧のみで持ち出しは厳禁。
また、学習場所としての開放はしていません。

2学期の進学講座

2学期以降にも平日は理社、土曜は全教科の講座が計画されています。(2学期始業式の日)に申込み開始)

	講座名	目的	日程	実施時間・条件	実施教科	対象者
2 学 期	進学講座	大学入学共通テストに向けて理科・地公の力を養成する(全10回)	地公は水曜日 理科は木曜日 (9月~11月)	1講座 70分 放課後実施	理科 地公	要項で 案内
	土曜講座	入試に対応する力をつける(全5回)	9月 4日(土), 18日(土) 10月 2日(土), 16日(土) 11月 6日(土)	1講座 65分 自分に必要な講座 を選択して受講	全教科	要項で 案内

野球全校応援！

7月26日(月) 準決勝 草薙球場 バス生涯学習センター 3年は10:00 出発

7月28日(月) 決勝 草薙球場 バス生涯学習センター 3年は7:30 出発

暑さ対策 経口補水液等 飲料を各自3本・帽子・タオル等を必ず持参すること。
睡眠をしっかりとり、当日朝食をしっかり食べてくること。



「現役生は夏に伸びる」って本当ですか

— 本当。具体的な計画を立てて臨んで

現役生が夏に伸びるのは本当です。ただし、それには「具体的な学習計画を立てる」「規則正しい生活を守る」などの条件をクリアし、夏休みを無駄にしない必要があります。

そもそも春から夏の模試では浪人生と競うため、現役生は偏差値が低くなりがちです。まじめな人ほど早く挽回しようと焦り、夏に未習分野を先取りしがちです。

しかし、夏の最優先事項は「基礎固め」と「苦手科目の克服」です。夏休み前に模試や定期テストの結果を分析し、自分が不足している点を把握して夏に潰せば、焦らずともよい結果につながります。

とはいえ、夏休みの間、ずっと得意科目を放っておくこともNG。学校での勉強のように、毎日少しずつでもすべての科目に触れましょう。計画表を早めに作り、先生方にアドバイスをもらってもいいかもしれませんね。

駿台予備学校進路アドバイザー 下松愛華さん（読売中高生新聞 R3.7.2 より）

進路のしおりより —夏休みに向けて—



受験は、本番一発勝負ではありません。受験当日までに必要な学力を培ってきた者が、合格を掴みます。そこで、合格までの過程を逆算しましょう。大雑把でかまいません。やるべきことが見えてきます。そして、まずは実行してみましょ。はじめは、なにをどのくらいやればいいのかよく分かりませんが、“とりあえずやってみる”ことで、だんだん自分に合った勉強法に落ち着いていきます。今の自分に何が足りないのかを常に考え、計画を修正していきましょう。

夏には、苦手科目の基礎固めのし直しと理科・社会の勉強を軸にすべきだと思います。良問の風（物理の基礎レベルの問題集）とセミナー（化学の基礎レベルの問題集）を何回通りも夏休みに解いて化学が得意になりました。旧帝大レベルの最難関大学を目指す人でも基礎固めがしっかりしていなければ、応用レベルの問題をやってもあまり効果がないと思うので、焦らず、基礎固めのし直しを夏にはやったほうがいいと思います。

ふつう、受験生と聞くと毎日10時間勉強！なんて思い浮かぶかもしれませんが私は長時間勉強は片手の指で数えられるほどしかできませんでした。というのも、私はゲームをするのが好きで自粛期間から毎日2時間ほど夜ゲームをしていました。それが悪い習慣となり、いつかやめようと思ってもやめられないまま、共テ前もやっていました。このようなこともあり、私は家を勉強する場所ではなく休憩する場所と認識してしまっていたため家ではほとんど勉強をできませんでした。この経験から皆さんにアドバイスがあります。一つは勉強する習慣をつけることです。後に楽をしたいなら2週間ほどは自分に厳しくすることを強くお勧めします。もう一つは集中できる場所を作っておくことです。先程、家ではほとんど勉強しなかったと言いましたが、平日は毎日学校の自習室で7時まで勉強をしていました。このような場所を見つけることは、特に塾に行っていない人にとって大切だと思います。

私は受験で一番大切なことは、“最後までやり抜くこと”だと思います。私はどちらかというと勉強はできないほうでした。3年の最初のころは模試でも5割程度しか取れず、ようやく500点台になったのは夏休み明けでした。「こんな調子で行ける大学なんてあるのかな…」と何度も思いました。ずっと第一志望で書いていた大学も常に判定はEでした。それでも私は第一志望に書く大学を変えたことは一度もありません。今、結果が思わしくなく志望校を変えようか悩んでいる人がいたら、私は変える必要なんてないと思います。今頑張っている結果は半年後に出るそうです。何校か候補を挙げておいて、実際にどうするかは共通テストを受けてから、その結果次第で考えればいいのかではないでしょうか？第一志望を変えるということは、その大学にどうしても行きたいという気持ちが強ければ強いほど勇気があることです。まずは共通テストでやり切ったと思えるように日々の勉強を頑張ってください。

夏休みは本当に大切です。夏休みに、「得意教科です！」と自信を持って言えるくらい努力する教科を決めて勉強してください。私の場合、努力したのは化学です。夏休みの前に結果が返ってくる模試で化学32点を取りました。化学は得意な方だと思っていたため、ものすごく悔しかったのを覚えています。この悔しさをバネに夏休みは一日も欠かさず化学の勉強をし、受験本番では化学に助けられました。皆さんも得意だと自信を持てる教科を作る事が心がけてください。